

# 浜松市障がい者自立支援協議会調整会議会議録

1 開催日時 平成30年7月13日(月) 午前10時から正午

2 開催場所 浜松市役所 北館1階101, 102会議室

## 3 出席状況

区自立支援連絡会名	所属
中区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぷらたなす
	中区社会福祉課
東区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所だんだん
	東区社会福祉課
西区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 まど
	西区社会福祉課
南区自立支援連絡会	障がい者相談支援センター 浜松南
	南区社会福祉課
北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ナルド
	北区社会福祉課
浜北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぼるた
	浜北区社会福祉課
天竜区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 てんりゅう
	天竜区社会福祉課
オブザーバー	障がい者基幹相談支援センター
	障がい者相談支援事業所 シグナル
障害保健福祉課 (事務局)	医療・就労支援グループ長
	生活支援グループ長
	生活支援グループ

## 4 議事内容

- (1) 平成29年度障がい者自立支援協議会実績報告
- (2) 平成30年度障がい者自立支援協議会の体制について
- (3) 専門部会活動予定
- (4) 今後のスケジュール

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援グループ

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

## 7 会議記録

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 平成29年度障がい者自立支援協議会実績報告
- (2) 平成30年度障がい者自立支援協議会の体制について

…市協議会：浜松市障がい者自立支援協議会  
…区連絡会：浜松市〇区障がい者自立支援連絡会

#### 事務局

##### ○市協議会と区連絡会の各会議開催状況

- ・各区においては、区の特性に応じて部会等を設置し、活発な活動を実施
- ・当事者部会は、障がい者計画、障がい福祉実施計画策定年度であったことから4回開催
- ・当事者部会で障がい者計画、障がい福祉実施計画以外の意見として、「自立支援協議会はどのような会議か」「どのような検討を行っているかが当事者部会に伝わってこない」というものがあった。
- ・上記から、当事者部会においても必要な都度報告していく。
- ・調整会議は、5回開催。

##### 平成28年度に出された意見

- ・課題解決機能がない
- ・課題整理表の取扱いが不明
- ・各専門部会の情報発信がない
- ・市協議会・区連絡会・専門部会が連動していない
- ・各会議での情報共有がされていない

##### 上記より、平成29年度は

- ・調整会議に全体会の機能を追加
- ・意見交換を活発に行うため参加者数を削減
- ・各会議の情報発信のため、各会議で報告
- ・浜松市のホームページを利用し市民へ発信
- ・PDC Aサイクルで課題に対する支援を検討できるようシートを作成

##### ○平成30年度の体制

- ・あり方検討会を設置し、新たな浜松市障がい者自立支援協議会の体制を構築

#### 基幹相談支援センター

- ①委託相談支援事業所や計画相談支援事業所が関わっている困難ケース等についての相談に対する助言や、一緒に考えること
- ②各区連絡会にも必要に応じて参加

##### 上記より

- ・各区の取組やケースの困難さ、課題について、市に直接提言が必要なものもいくつかある。
- ・複数の相談員で検討して課題解決の道筋をつけていけるといいというものが多くある。

これらから、市全体で協議、又は市へ提言すべき課題について、基幹相談支援センターから関係機関に投げかけをし、複数区で今後の課題の分析や調査等解決に向けて検討していきたい。

協働で課題検討したものについては、区連絡会で報告をし、意見集約をしていく。意見集約や承認を得る場合は、できるだけタイムリーにしていき、調整会議にはかりたい。

検討後、課題の取扱いや提案事項について明確なフィードバックを行政からいただき、方向性が決まったものは各区連絡会で協議をしていただきたい。

これまで各区同士で情報交換をする中で同じような課題あったかと思うが、それを煮詰めていくことが難しい状況であったと思う。そこを、基幹相談支援センターが調整していきたいという提案。

シグナル

組織がいろいろあるが、課題解決をする場合は、どこになるか。

事務局

課題についての協議を行う場合は、各区では連絡会となる。区連絡会から市へ上がった課題は調整会議で協議することとなる。そこでの協議の結果、区連絡会へ戻す、市で検討するという調整を行う。

シグナル

各区でできない事が調整会議にあがったり、専門部会からの市全体の課題として提案があったりするが、それを協議する場が、あり方検討会になるのか。

事務局

それは、調整会議。

シグナル

あり方検討会は、新たな浜松市障がい者自立支援協議会のあり方を検討する場になるということか。

事務局

はい。

だんだん

専門部会、調整会議、当事者部会があるが全体会がないということが、全体像がつかみにくいと感じる。今後、全体会をどうしていくか、どのように検討されているか。

事務局

あり方検討会で検討していく。

だんだん

全体会を設置する可能性もあるか。

事務局

新たな浜松市障がい者自立支援協議会ではどのようなことを検討していくのかという中で、全体会が必要となれば、設置していく。

だんだん

課題についても、部会についても、フィードバックできる場所があった方がいいと思うので、検討していただきたい。

事務局

課題についてのフィードバックがないことは、以前から聞いており、重要だと思っているため、どのように流していくかということも考えていきたい。

基幹相談支援センターからの提案について、複数区での検討が必要な場合は、基幹相談支援センターに調整していただこうと考えているがいかがか？

中区

複数区で検討の場合の位置づけは、区連絡会としての位置づけか、市全体の課題であるという位置づけか。その位置づけがないと、連携をして、課題が煮詰まっても、その後どうするのかということになりかねない。それもあり方検討会での検討になるか。

基幹相談支援センター

各区の課題と思われる部分については、各区連絡会で検討していただくことが前提だと思う。ただ、基幹相談支援センターとして、全市的に考えた方がいいと思われる課題のケースを把握させていただき、その課題について複数区で煮詰めましょうという提案をし、検討していく。そして、区連絡会も通すが、最終的には調整会議にあげていく流れを取りたい。

中区

パイプみたいな流れになるか。

シグナル

P D C Aサイクルのシートを出していたが、基幹相談支援センターの方が区連絡会に参加してくれるので、そこで調整をしてくれるということか。

基幹相談支援センター

すべてやることは難しい。優先順位が高いものについて声を掛けさせていただき、事業所や該当区の中で検討し、煮詰めて、P D C Aに落とし込んで出していくという流れを作りたい。

浜松南

共通課題と思われるものについて、区及び区の事業所には、基幹相談支援センターが声をかけてくれるのか。

## 基幹相談支援センター

基幹相談支援センターで把握できたものについては声をかけさせていただくが、逆に、「他の区でもあると思うため、ぜひ一緒にやろう」という投げかけをして下さってもいいのかなと思う。ただ、優先的にやるものについては検討が必要となる。

## 事務局

先ほど全体会の話も出たが、そこも含めて資料の2の2のスケジュールで進め、来年早々には報告をさせていただきたいと思っている。

### (3) 専門部会の活動予定について

## 事務局

#### ○地域移行定着支援専門部会

- ・地域移行に絞った部会から地域定着に焦点をあてた部会となった
- ・年2回開催（次回は7月27日19時から）
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに参画していく

課題が3つ

- ①地域移行の受け皿作り
- ②ピアサポートの活用方法
- ③住まいの支援について検討

これまでの活動に加え、新たなメニューとしてアウトリーチ事業を加えるかについて、意見を伺う予定。

## 事務局

#### ○重度心身障害児専門部会

- ・第5期障がい児者実施計画に、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置が、5つの成果目標の中に入っている。
- ・保健・医療・福祉教育・教育の関係機関が連携できる協議の場を、平成30年度末までに設置する。

#### ○子ども専門部会

- ・障がい児の相談支援の機能が弱いという課題
- ・障がい児計画相談支援事業所へのアンケート
- ・児童通所の放課後デイサービス、児童発達支援事業所の利用の現状の分析
- ・平成30年度は、上記の結果に基づき、計画相談支援事業所で利用できるモニタリングのシートを作成
- ・基幹相談支援センターによる研修実施

## 基幹相談支援センター

相談支援事業所連絡会で、専門部会の動きがわからないという意見があった。専門部会の都度、議事録が出せたらいいと思っている。浜松市のホームページには、地域移行専門部会のみで、その他の部会について掲載がない。

基幹相談支援センター

子ども専門部会設置当初、議事録の扱いが問題になった。会議の中で個別のものが出ることもあるため、議事録作成時に配慮が必要である。

専門部会は、どの程度開催していくか予定は決まっているか。

事務局

重度心身障害児専門部会は、企画会議を7月～8月に1回予定している。子ども専門部会は未定。

重度心身障害児専門部会及び子ども専門部会については、それぞれ年2回くらいは開催したい。日程が決まったら連絡する。

基幹相談支援センター

会議の構成としてはこれまでと同じか。

事務局

これまでと同じように、専門部会にあわせて、企画会議を開く。

(4) 今後のスケジュール

事務局

あり方検討会と調整会議がうまく意見を汲み取れるような流れする。

あり方検討会の構成員選任：8月

あり方検討会1回目：9月 スケジュール確認や状況の把握

あり方検討会2回目以降：10月から12月 詳しい検討

検討内容を調整会議で報告し、意見をいただき、次の検討会へ報告するという流れで会議を開催する。そのため、調整会議は2回目以降のあり方検討会開催後に予定。

あり方検討会の最終が12月のため、年明け1月の調整会議で体制の報告をし、区連絡会への報告をしていただくことになると思う。

当事者部会からも意見をいただく予定。当事者部会で出た内容も調整会議で報告していきたいと思っている。

(5) その他について。

事務局

昨年度、できることもちよりシートによりいただいた報告から、生活介護事業所へのアンケートを実施する。各区連絡会を通してアンケートを実施予定だったが、市協議会で送付予定。内容は、区連絡会とも調整して作成したいと考えている。

実施したアンケート結果により、今後の取組を決めていきたい。

基幹相談支援センター

南区では、生活介護事業所アンケートに加えヒアリングを実施した。

ヒアリングでいろいろ聞けると思うため、相談支援事業所に依頼して事業所ヒアリングを実施してもいいのではないかと思う。

シグナル

計画相談支援事業所において、計画を立てるにあたり、生活介護について困っていることがあると思うため、そちらの意見も聞いてほしい。

例えば、強度行動障がいに対応できる事業所がないということでの苦労や特別支援学校卒業生の受入れ先がない理由は何かなど。

事務局

必要な調査内容を確認し、実施について検討する。

まど

できることもちよりシートでは、ほかにも報告があったと思うが、その他についてはどうなっているか。

事務局

調整会議で判断し回答している。

まど

スマイルフェスタへの参加について、他の区も参加して連携してできたらいいと思う。

●平成30年度第2回障がい者自立支援協議会調整会議について

事務局

今回は、10月を予定。

3 閉 会